

1801年(享和元年)～1804年(文化元年) の 鳥海山 の 噴火

火山名	災害発生日	災害発生市町村
鳥海山	1801年～1804年	市町村別の被害の詳細は不明
噴火の経過		
新火口丘生成。活動は前年冬から始まり、この年(1801年)の3月頃から噴煙絶えず、8月下旬には噴火は最も激しくなり荒神ヶ岳付近で爆発、噴石・降灰を噴出し、新山(享和岳)を形成した。 登山者8名が噴石で死亡した。		
参考(写真など)		